

・報告

UIUC での1学期目も終わりに近づき、留学も残す所半年と成りました。留学をすると感じられる物が沢山あります。私は、いつも何故留学をしたかと聞かれると自分を見たいし、日本を見たかったと答えます。例えば、小学校にいる時は、自分の小学校の変わっている部分はわかりません。中学に行って初めて違う小学校の人間と会い話す事で違いがわかります。中学の事は高校に行った時。自分の町の事は違う町に行った時にわかります。とにかく比較対象がなければ何かを見るというのは大変です。まず留学する事で違う国から日本を見る事が出来ました。そして違う大学に通う事でKITの良いところ悪い所も見えてきました。とにかく日本に帰って行動に移したい事が沢山あります。後半しかないので、とにかく自分の中で増やせるだけ自分の「はかり」を増やしたいと思っています。

・その他

UIUC に来て感じた、UIUC と KIT の間で違う大学を作っているものについて書く。まず始めにUIUCを作っているものは学生である。KITも、もちろん学生が作っている。では何が違うのか、UIUCの学生は、遊び、勉強、仕事をオーガナイズする力がある人間が多くいる。学内の至る所に学生の自由に使えるフライヤーを貼る所がある。その掲示板には部屋のリースから中古品の販売、そしてパーティーにダンス教室まで多くの物が絶えず貼られている。興味のある学生はフライヤーを見て情報を得て必要な物には参加している。例えば期末試験の前には、みんなで集まって勉強会をしようというフライヤーが貼ってあったり、試験期間中の休日前には試験勉強の合間にリラックス、みんなでアイススケートに行きましょうというのがあったり。今夜〇〇ってクラブでパーティーしますとかとにかく自由です。そう学校が基本的に提供している物は柱であったり掲示板であったりする。一方、KITは学生が何かをしやすいうように、自習室や、夢考房を提供している。ただ自習室はあくまで勉強する場所を提供しているだけでこれはUIUCでも提供されていて、学生の自発的行動には繋がっていない。夢考房は工学系の大学では、とても良いソリューションであり誇れる施設だが、最近では縛りが多く学生が自治で行っているとはいえない。また夢考房は、一見開けている施設に見えるがプロジェクトを行っているメンバー以外への情報は少なく、入りづらいのも現状である。また私の経験でもあるがKIT内でなにかを思いついて楽しもうと思っても宣伝する場所がない。そのため、内輪のイベントになったり、イベント自体が出来なかつたりする。とにかく授業中でも何でも自発的に動く人間がKITには少ない。私は、学生には自発的に行動する力が不可欠だと思う。授業でいくら自発的に動くようにしろと言っても変わる物ではない。学校は、施設の充実よりも先に学生の自発的に行動できるようにする為に自由に使える柱や掲示板を用意すると良いと思います。そうすることで、もしかすると授業中も活発になるかもしれないと思いました。